

『脆弱性診断』

新年度キャンペーン

新年度に向けてセキュリティ対策の見直しに！！

新年度は、システムのリリースや、人の入れ替わりによって、不慣れな作業に追われることが多々あるかと思います。

セキュリティ対策が後回しになる前に、サイバー保険が自動付帯される当社脆弱性診断サービスによる、貴社システムの現状調査を是非ご検討ください。

6月末日までの業務完了が対象

- ・ご発注から1年間、上限1,000万円のサイバー保険が自動付帯
- ・通常1回まで無償の再診断が2回まで無償提供
- ・通常3か月間の再診断及びQA受付期間を6か月まで延長

2025

上記特典付きで脆弱性診断をご利用いただける

『**新年度キャンペーン**』実施中！

※2回目の再診断の対象は1回目の再診断で修正されていなかった箇所とさせていただきます。

※2025年6月末日までに業務完了/ご検収をいただける診断限定です。

※キャンペーン対象のサービス一覧

- ・ SQAT for Web/NW/API

CPE（ツール診断のみ）、スマホアプリ診断、クラウド設定診断、ペネトレーションテストは対象外になります。



診断の流れ

診断範囲確定後、ツール診断と手動診断を行います。ツール診断で発生する誤検知や過検知をエンジニアによる手動診断でフォローし、網羅性と精度の両極から実態の把握を可能にします。さらに、検出された脆弱性、リスク、対策方法等をまとめた報告書をもとに、エンジニアによる報告会を実施いたします。診断後、脆弱性への対応状況を確認する再診断も提供しています。

診断前準備・調査



予備調査

事前調査
(クローリング)

対象システムの
機能分析

診断実施*1



脆弱性診断

複数ツールに
よるスキャン

ホワイトハッカー
による擬似攻撃

ペネトレーション
テスト*2

エビデンス取得
/リスク評価

報告書作成～報告会



報告書作成

BCPに対する
リスク評価

トレンドにもとづく
脅威評価

報告会

診断保守



結果報告後の
対応

再診断

デイリー自動
脆弱性診断等*3

*1：重大な問題点を検出した場合は「速報」として随時ご報告いたします。

*2：ご依頼がある場合、検出した脆弱性を用いてシステムへの侵入を試みます。

*3：別メニューとなります

サービス例

約10リクエスト

例) 電機メーカーが海外販売店**コーポレートサイト**リリース前に脆弱性診断を実施

約50リクエスト

例) 小売店が**ECサイト**リニューアルに伴う安全性確認のため脆弱性診断を実施

約100リクエスト

例) 金融機関が**ネットバンキングシステム**のセキュリティ維持のため脆弱性診断を実施

自動付帯されるサイバー保険

<補償概要>

補償の全体像

賠償損害

損害賠償金

権利保全行使費用

争訟費用

訴訟対応費用

支払限度額：1,000万円

費用損害

事故対応費用

事故原因・被害範囲調査費用

広告宣伝活動費用

法律相談費用

コンピュータシステム等復旧費用

コンサルティング費用

見舞金・見舞品購入費用

クレジット情報モニタリング費用

公的調査対応費用

被害拡大防止費用

再発防止費用

サイバー攻撃調査費用

支払限度額：1,000万円 (賠償の内枠)

適用地域は全世界

BBSecによる脆弱性診断の契約日から1年間、情報漏えいやサイバー攻撃に起因する賠償損害や、事故発生時に対策を講じた場合の費用損害について、実際の初動対応には平均して1,000万円程度必要であるという当社データをもとに、最大1,000万円まで補償されるプランを付帯しております。

株式会社アイネット

ビジネス推進本部

〒220-0012横浜市西区みなとみらい5-1-2 横浜シンフォステージ ウエストタワー13階



security-sol@inet.co.jp

※記載の会社名及びサービス名は弊社の商標または登録商標です。

SW_テ_02_2022.11